

相模

第519号
令和2年1月1日

方除
寒川神社

相模國二之宮

初詣
は
こ
は
か
り
は

令和二庚子歳



S A G A M I

令和2年 年頭のご挨拶
社頭動静
即位礼当日神社に於て行う祭祀
天皇陛下御即位奉祝行事
盛大に開催
彬子女王殿下御台臨 神嶽山神苑開苑10周年
茶道裏千家
鵬雲斎千玄室大宗匠奉仕献茶式
寒川病院創立50周年
奉仕の精神を忘れず
「令和の平和への願い」を込めて
迎春神話ねぶたご紹介
八方除解説
大嘗祭当日祭奉納者芳名
令和元年篤志奉納者芳名
第52回菊花写真展入賞者芳名・NY見聞録
寒川俳壇・相模詠草・人事
授与品図鑑
青少年だより・神恵苑だより
「令和の大御代」公演ご案内



【神苑に春の訪れを告げる白梅】
※例年3月上旬が見頃です。

3月1日(日)より開苑予定

神嶽山神苑

神苑で大神さまとのご神縁を深めましょう

神苑内では

茶屋「和楽亭」にて抹茶と和菓子をお楽しみいただけます。(500円より思召し)
石舞台にて神楽舞と雅楽の奉奏を開催致します。期日は決まり次第、神社ホームページへ掲示致します。

節分祭のご案内

立春の前日である2月3日(月)、邪気災厄を祓い開運招福を願う「節分祭」が斎行され、古式に則り、追儺神事が執り行われた後、特設櫓より豆撒きを行います。

この神事に奉仕される年男・年女の皆様を下記により募集致します。

(要 項)

- 日 時 2月3日(月)
午前11時
(町内在住の方)
午後2時
(町外在住の方)
- 初 穂 料 金1万円
- 申 込 神社窓口へ直接お申込みください
- 必 切 1月25日(土)



※祭典にご参列 いただいた後、豆撒きをしていただき、
参集殿にて直会をご用意しております。

高座氏子総代会主催

第44回伊勢参宮旅行のご案内

毎年多くの氏子崇敬者のご参加をいただき実施しております伊勢参宮旅行は本年で44回目を迎えます。

清き川の流れと、緑深き静寂の森。「日本人の心のふるさと」伊勢の神宮で、その荘厳な空気を五感で体験してみませんか？

本年は伊勢の神宮の他、神宮の関連施設を見学、散策する行程となっております。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。



(要 項)

- 日 時 3月8日(日)～3月10日(火)
- 募集定員 120名
- 参 加 費 48,000円
(交通費・宿泊費・食事代・傷害保険料・神宮神楽料含む)
※宿泊の同部屋希望は追加料金あり
- 必 切 1月30日(木) ※定員に達し次第必切となります。

お申込み・お問合せ 寒川神社総務課 ☎0467(75)0004代



祭典と行事のご案内

17日 10時	〃	11日 10時	3日 11時・14時	8日 10時	3日 8時	2日 20時	〃	6時	1月 1日 0時
祈年祭並田打舞神事	顕彰式	紀元祭並顕彰奉告祭	節分祭	武佐弓祭	元始祭	追儺祭	歳旦祭	引続き 元旦祈禱祭	八方除祭

毎月

1日・20日 8時30分 月次祭
(1月1日除く)

〃 13時 末社御祖神社 春季霊祭並合祀祭
〃 14時 宮山役員改選奉告祭
3月 20日 10時 安藤由勝大人命 伊集院直彦大人命 他命等の慰霊祭
23日 10時 天長祭



令和2年 年頭のご挨拶

宮司 利根 康教

令和2年庚子歳の新春を迎え、謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄を言祝ぎ、国家の隆昌、世界の恒久平和を衷心より祈念申し上げます。

畏くも天皇陛下におかせられましては、昨年5月1日に践祚の儀を経て人皇第126代の宝祚を継がせられ、新しい「令和」の御代がはじまりましたことは誠に御目出度く慶賀に堪えません。当神社におきましても、昨年は天皇陛下御即位を奉祝申し上げる種々の行事を実施し、町内外多くの皆様とともに陛下に感謝の誠を捧げることが叶いましたことは、恐悅至極に存ずるところであり、ご協力賜りました関係各位に改めて感謝申し上げます。

さて、当社では町民及び近隣の方々への社会奉仕の一念のもと、「宗教法人寒川神社寒川病院」「介護老人保健施設 神恵苑」の運営を行っております。特に、寒川病院は「宗教法人」として運営しており、神社が運営する病院としては全国的に見ても非常に珍しい施設であります。当社では、この2つの施設を通じて、地域の皆様との繋が

りを大切にしながら、「医療」と「介護」に対して「宗教」という側面から「何かお役に立てないか」ということを模索し続け、寒川病院は過日創立より50年を迎えました。また、ここ数年で当神社のさまざまな行事が開始より50年という節目を迎えており、当社にとりましては、非常に喜ばしい慶事が続いております。当社社の約一六〇〇年の歴史の中で、50年というのは長くはありませんが、半世紀にも亘り継続できていることは、先人たちの努力の賜物に外ならず、この継続が次の50年へと繋がり新たな歴史を紡いでいくのだと存じます。

これまで、神社神道は「殊更に『言挙げ』をしない宗教」であるといわれてきました。「言挙げ」とは「言葉にして明確に表現すること」をいうのですが、日本では古くから、あえて言挙げをすることなく「あいまいな部分」を尊ぶ文化があるように思います。世にあふれる物事は、それが「善」なのか「悪」なのか、「正しい」のか「正しくない」のか、と明確にできないことが大半です。それを

突き詰めようとすれば当然争いがおこるのだと思いますが、この考えすら絶対に正しいということはありません。

さらに、近年の急速なグローバル化によって、諸外国の文化がどんどん浸透しております。日本に比べて諸外国、特に欧米の文化というのは、自分の意見をはっきりと表現する文化ですので、それに伴ってその国の宗教というものも日本のそれとはかなり考え方が違います。ただし、これについても、日本が正しく、他は間違っているということは決してありません。つまりは、異なる考え方の者同士が、いがみ合うことなく共存することを目指していくことが肝要であります。

少し前の日本では、ほとんどの家庭で三世代の家族が一つ屋根の下で生活し、地域との繋がりも密であったため、小さい子どもは多くの大人たちから、自然と多くのことを教えられて育っていました。現代では核家族化が進み、子どもが大人と接する時間が減ってきているように感じます。

その中で、我々にできることは、「言

挙げしない宗教」から、正しいことを「言挙げする宗教」への転換であると考えます。ただし、ただ闇雲に「言挙げ」するのではなく、日本人が本来持っている「あいまいな部分を受け入れる寛容な心」を大切に守りながら、その素晴らしさ・日本人らしさを後世に伝えるため、世界に発信するために「言挙げ」することが求められているのではないのでしょうか。

外務省によると、「令和」という元号は英語で説明する場合『Beautiful Harmony』という趣旨であるようです。世界が抱える問題は山積しておりますが、日本人が有する「美しい調和」の心で、今後も地域と手を携え続けていくことが世界平和への一助となることを確信しております。

御参拝の皆様には、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、寒川大明神様の広大無辺な八方除の御神徳を余すことなく受けられまして、幸多き年をお過ごしになられますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

寒川さんの鈴の音

神嘗奉祝祭

伊勢の神宮において年間に行われる祭典は約1500を数えます。その多くの祭典の中で、最重要とされるのが「神嘗祭」です。その年に収穫された新穀を天照大御神に捧げて、その恵みに対して感謝する祭典であつて、神宮では祭典とともに御装束と祭器具等が一新されます。20年に一度斎行される「式年遷宮」は大規模な神嘗祭であるとも考えられており、式年遷宮後最初の神嘗祭を特に「大神嘗祭」ともいいます。

10月17日には皇大神宮（内宮）において、天皇陛下が遣わされた勅使により奉幣（ほうへい）が行われ、同日に天皇陛下におかせられては皇居内の神嘉殿にて皇大神宮を御遥拝になられます。このような日本人の生活の根源ともいえる重要な祭典が斎行される当日に、当神社でも神嘗奉祝祭を斎行して、神宮を遥拝致しました。

神宮大麻暦頒布始奉告祭

11月7日、神奈川県神社庁相模湖南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が管内の各神社の宮司参列のもと、斎行されました。

神宮大麻とは、伊勢の神宮の御祭神であり、皇室の祖先神・日本人の総氏神であらせられる、天照大御神様が宿った神札のことをいいます。伊勢の神宮より神社本庁、各都道府県の神社庁を通じて、年末までに神宮大麻と神宮暦が全国崇敬者へ頒布されます。新年を迎えるにあたり神宮大麻を氏神様の神札とともに神棚にお祀りして、大御神様の御加護をいただき、その年の家内安全をお祈りください。

教養研修会

11月6・7日、恒例の神奈川県神社庁相模湖南支部主催の教養研修会が当神社参集殿にて2日間に亘り開催されました。今回は、京都産業大学

点の写真が境内を彩りました。11月23日には責任役員、菊花写真展の出品者参列のもと「菊花写真並びに篤志奉獻感謝祭」が斎行されました。昨年は、7月の日照不足、その後の猛暑、そして大型台風の関東地方直撃など、特に菊花にとっては非常に厳しい気象条件ではありまし

たが、皆様方の絶え間ないご尽力によって、見事な作品を出品いただきました。祭典終了後には、当神社参集殿において式典が開催され、神社への多大な奉納に対する感謝状の授与と、第52回菊花写真展に入賞された方々（御芳名は16・17ページに記載）の表彰を執り行いました。



名譽教授・モラロジー研究所教授 所功氏を講師としてお招きして、「令和改元と即位礼・大嘗祭の意義」をテーマに、改元から大嘗祭に至るまでの御即位の意義を詳細な説明とともに講義いただきました。

先生のお話を通して、天皇陛下の神々への感謝と国家国民の安寧を願う祈りの深さを窺い知ることができ、国民の幸せを第一に願う天皇皇后陛下下の思いを改めて考えさせられる研修会となりました。

大嘗祭当日祭

その年の新穀を神々にお供えし感謝を捧げる秋祭りのことを「新嘗祭」といい、当神社でも毎年11月23日に斎行しておりますが、昨年に限り天皇陛下の御即位に際し宮中で「大嘗祭」が斎行されたのにあわせ、11月14日に新嘗祭に代わり「大嘗祭当日祭」を斎行し、責任役員をはじめ多くの氏子崇敬者の皆様にご参列いただきました。

大嘗祭は、天皇陛下が御即位後最初に行われる新嘗祭のことで、天皇御一代に一度しか行われない、皇位継承に関連する諸行事の中でも特に重要な位置づけの祭祀です。大嘗祭のために建築される大嘗宮（悠紀殿・主基殿を中心として複数の建物

で構成される）にて古式に則り斎行され、天皇陛下御自ら新穀を神々にお供えされた後、御自身もお召し上がりになります。また、神々へは、全国各地で採れた米や粟、各地の名産品である野菜・果物・海の幸など（庭積机代物という）が供えられ、国家・国民の安寧や五穀豊穡を感謝、祈念される国を挙げての祭祀であるといえます。

当神社では、大嘗祭が斎行される当日11月14日に「大嘗祭当日祭」を斎行し、天皇陛下御即位の奉祝と秋の豊かな稔りに感謝申し上げ、近隣の生産者より丹精込めて作られた新米・野菜・果物などさまざまなものが御神前に奉納（奉納者の御芳名は15ページに記載）されました。祭典後は、当神社参集殿に場所を移し、日本青年協議会月間『祖国と青年』編集長 鈴木由充氏をお招きし、「皇位継承と大嘗祭」というテーマでご講演賜り、大嘗祭の意義を深く学ぶことができました。

菊花写真並びに篤志奉獻感謝祭

11月10日より23日までの間、52回目を迎える寒川神社菊花写真展が神社内庭・回廊にて開催され、約250点の色とりどりの菊花とともに神社の四季を色彩豊かに撮影いただいた120

日本大通り流鏝馬騎射式

10月27日、ラグビーワールドカップ2019™準決勝開催にあわせ、神奈川県庁前にて「令和元年日本大通り流鏝馬騎射式」が行われ、当神社からも1名の射手が奉仕しました。



公道を封鎖しての流鏝馬は首都圏では初めてのことであり、会場の都合で的は1つだけとなりましたが、外国人も多く見物に訪れ、日本の伝統武芸に酔いしれました。

寒川町自衛消防隊消火技術大会

10月28日、さむかわ中央公園にて寒川町消防隊消火技術大会が開催され、当神社からも男子・女子の2チームが出場しました。3つの部門に、町内15の事業所から20チームが出場する中、当神社のチームは日頃の訓練の成果を発揮し、屋内消火栓女子の部で優勝（会長賞）、小型ポンプ操法男子の部で議長賞を獲得しました。この成果を糧にして、今後も神社全体の防災に努めてまいります。



祭典・行事のご報告

10月	1日	職員防災訓練
	6日	末社宮山神社神幸祭
	13日	第7回相模塾
	15日	人形感謝祭
	17日	相模国式内社の會總會
	22日	神嘗奉祝祭
	22日	即位礼当日神社に於て行う祭祀
	23日	天皇陛下御即位神輿渡御行事
11月	3日	明治祭
	6日・7日	相模湖南支部教養研修会
	7日	相模湖南支部
	10日・23日	神宮大麻暦頒布始奉告祭
	12日	第52回菊花写真展
	12日	臨時大祓

12月	14日	大嘗祭当日祭
	23日	菊花写真並びに篤志奉獻感謝祭
	25日	神嶽山神苑開苑十周年奉告祭
	14日	併せて献茶式・記念式典
	17日	煤拂祭
	20日	第41回世界連邦平和促進
	21日	全国宗教者・信仰者
	31日	神奈川・寒川大会
		師走大祓式並除夜祭
		神徳感謝祭
毎月1日・20日		月次祭

即位礼当日神社に於て行う祭祀

天皇陛下御即位

奉祝行事 盛大に開催

畏くも天皇陛下におかせられましたは、10月22日午後1時、黄櫨染御袍をお召しの上、皇居正殿「松の間」の高御座に登られ、その即位を全国民・諸外国に対し高らかに宣明遊ばされる「即位礼正殿の儀」に臨みませられました。

この国家的な慶事にあわせ、当神社では同日午前10時より「即位礼当日神社に於て行う祭祀」が責任役員をはじめ多くの氏子崇敬者・神社関係者参列のもと厳肅に斎行され、引き続き参集殿において記念式典が、さらに午後からは神輿渡御行事のほか種々の奉祝行事が盛大に開催されました。

午前中の降雨から天候が一転し、午後は風は強かったものの晴れ間も見えはじめる中、午後2時より奉祝神輿渡御がはじまりました。まず、寒川駅前公園に当神社をはじめとした寒川町内

に鎮座する菅谷神社・倉見神社・八幡大神の計4社4基の神輿が集結し、式典が開催され、当神社利根宮司の祝詞奏上後、巫女4名により神楽舞が奉納されました。そして多くの方々に見送られながら、当神社所有の流鏑馬奉仕馬「平安」号に騎乗した利根宮司を先頭に寒川神社へ向けて渡御行事がはじまりました。お囃子など多くの町民の方が渡御列次に加わりながら、沿道には日の丸の小旗を振る方々も大勢集まり、相州神輿特有の「甚句」の掛け声とともに、寒川町商工会前、寒川郵便局前、表参道、寒川神社へと長い列をつくり、賑やかに、威勢よく練り歩きました。

還幸が近づく午後4時頃からは、浅野太鼓（石川県）に所属する女性グループ「焱太鼓」の力強い迎え太鼓が披露

される中、本殿前に神輿が集結しました。当神社の長い歴史の中で寒川町内の4基の神輿が神門をくぐり本殿前に集合したということは、ほとんど前例がなく、その貴重な光景を一目見ようと多くの方が訪れ、境内は正月さながらの人出となりました。

引き続き、午後5時より「遠州新居手筒花火（静岡県湖西市）」の花火師30名による奉祝花火が豪快に披露されました。現地ではすさまじい火花の中、御幣を背につけた花火師から解き放たれる火花は聖なる火とされ、その火花を受けることで御神徳をいただけるといわれており、大迫力の光景に、境内からは大きな歓声が上がりました。

その後、特設舞台で「焱太鼓」の皆様による演奏が行なわれ、女性ならではの品やかさと、北陸地方独特のリズム

が観衆全員の心と体に響き渡りました。また日が落ちる頃からは、社殿と神門に当日限りの色鮮やかなライトアップが施され、普段では感じることでできない幽玄な雰囲気の中、天皇陛下の御即位を奉祝申し上げた1日が滞りなく幕を下ろしました。

本行事は、当神社以外にも寒川町観光協会との共催として、寒川町全体の奉祝機運を高揚させるために開催された行事です。

当神社のみならず、全町民を挙げての奉祝行事となり得たのは、氏子崇敬者の方々の神社を思ってくださる信仰心の賜物に外ならず、今上陛下への報恩感謝の誠を捧げることへとつながりました。行事開催にあたり、ご協力いただきました関係各位に改めて感謝申し上げます。



【左写真説明】
①国旗と横断幕を先頭に
②遠州新居 手筒花火
③「焱太鼓」演奏
④祭典「人長舞」
⑤奉祝神輿渡御
⑥「平安」号に騎乗する宮司
⑦本殿前に神輿が集結

彬子女王殿下御台臨

神嶽山神苑開苑10周年

茶道裏千家 鵬雲斎千玄室大宗匠 奉仕献茶式



御社殿御造営竣工10年を記念して整備致しました御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、お陰様にて平成21年の開苑より10周年を迎えましたことは、本誌第517号にて既報の通りでございます。

この度、開苑10周年を記念し、11月25日午前10時より彬子女王殿下の御台臨を仰ぎ「神嶽山神苑開苑10周年奉告祭」を斎行致しました。奉告祭に併せて、茶道裏千家鵬雲斎千玄室大宗匠（以降、大宗匠と記載）の御奉仕によります献茶式が本殿で行われ、責任役員をはじめ町内外より関係者約130名が参列しました。

祭典の前後では、鮮やかな紅葉に彩られた神苑内に茶席（直心庵・和楽亭）が設えられ、女王殿下をはじめ大宗匠、設計監理をお引き受けいただいた日本造園設計株式会社野俊明氏（徳雄山建功寺住職）、造営工事を手掛けていただいた植藤造園（京都市右京区）16代当主佐野藤右衛門氏などのご来賓の皆様とともに参列者全員にお茶が振舞



開苑10周年を記念し、大宗匠より奉納賜った掛軸
「神徳可敬（しんとくやまうべし）」

われました。

午後1時から、会場を参集殿に移し「記念式典・講演会」が開催され、神社本庁田中恆清総長（京都府・石清水八幡宮宮司）も駆けつけていただき、ご祝辞を賜りました。その後、枅野俊明氏より10年

いただきました大宗匠にご登壇いただき、ご自身の戦争体験を交えながら「私は、お点前ではなく、お茶の精神・哲学・思想を教えるために、一盤（いちばん）を持って世界に行っています。お茶をいただく際に茶碗を回すのは、正面をよけるという目的で回しているものであって、回す回数は重要ではありません。正面をよけるということは、一歩下がって自分を顧みるということ。茶道において、お茶をいただくときには、勧め合う気持ち・いたわり合う気持ちが大切で、そこには区別差別などありません。皆が一致して、清らかで素直な心を持ち、自分で自分を反省することができれば、素晴らしい生き方ができます」と、茶道精神の神髄と我々が目指すべき道を説いていただきました。

間の経過報告がなされ「日本文化発信の場所として、そして皆様の心のより所として長く育てていただきたい」とお話をいただきました。

次に女王殿下より「今後も神苑に多くの人が足を運ばれ、成長していく20年目・30年目の姿を楽しみにしております」との過分なるお祝いのお言葉を賜りました。

記念講演には、献茶式を御奉仕

かで素直な心を持ち、自分で自分を反省することができれば、素晴らしい生き方ができます」と、茶道精神の神髄と我々が目指すべき道を説いていただきました。

神嶽山神苑開苑10周年にあたり、彬子女王殿下御台臨のもと、大宗匠の御奉仕による献茶式を斎行することが叶い、この上ない「誉」をいただいた一日となりました。

【写真説明】
（右頁上段）下池広場より
①女王殿下と大宗匠
②下池広場にて
③巫女のお点前にて
④献茶式
⑤経過報告される枅野氏

茶道裏千家 鵬雲斎千玄室大宗匠

ちや どう うら せん け

ほう うん さい せん げん しつ だい せう しやう

哲学者・文学博士。
大正12年 京都府生まれ。同志社大学法学部経済学科卒業後、ハワイ大学での修学を経て韓国中央大学校大学院博士課程を修了。
昭和39年 千利休居士15代家元を継承し、裏千家今日庵々主として「宗室」を襲名。
平成14年 嫡男に家元を譲座し、千玄室に改名。



「一盤からピースフルネスを」の理念を提唱し、国際的な視野で茶道文化の浸透と世界平和を願い、各国を歴訪され、国内外で活躍中。

《主な役職》

○外務省参与 ○ユネスコ親善大使 ○外務省国連親善大使
○公益財団法人日本国際連合協会 会長 ○京都大学大学院特任教授 ほか多数

理念

寒川病院は、寒川神社の御神威を戴し、地域の方々の健康管理と地域医療の充実を目指し昭和44年7月に開設されました。

以来、人命尊重と医療体制の確立をはかり、常に患者さまとの心の触れ合いを大切にし精神的な支えとなり、社会福祉の増進に寄与することが御神慮に叶うことであり、私達の喜びと誇りであります。

基本方針

- 一、寒川病院は奉仕の精神を忘れず存在する事
- 一、寒川病院は地域住民の健康な生活の中心的役割を果たす事
- 一、寒川病院は常に研鑽し医療の使命に情熱を燃やす職員の集団である事

宗教法人寒川神社 寒川病院沿革

昭和44年7月 寒川外科医院として開設
昭和54年12月 病床数19床で移転
昭和57年12月 宗教法人寒川神社
寒川病院に改称
病床数51床に増築



昭和44年 寒川外科医院

昭和62年4月 日帰り人間ドック開始
6月 CTスキャン装置設置
昭和63年4月 がん検診開始(町より委託)
平成2年10月 老人保健施設
「神恵苑」開設



昭和57年 寒川病院（増築）

平成11年12月 「さむかわ訪問看護
ステーション」開設
平成12年6月 MRI装置設置
平成16年8月 新病院竣工(病床数99床)



新病院竣工式

当神社が運営する「宗教法人寒川神社 寒川病院」は昭和44年の創立より50周年の大きな節目を迎え、10月19日に当神社参集殿にて記念祝賀会を開催し、来賓や町内外の関係者約100名が出席しました。祝賀会では、主催者を代表して当神社利根宮司・鳴海病院院長が挨拶し、寒川町長・県病院協会会長など来賓の方々より祝辞を賜り、50年の佳節をお祝い致しました。



祝賀会の様子

同病院の歴史は、前身である寒川外科医院の開設まで遡ります。寒川外科医院が開設された昭和44年当時は、戦後の高度経済成長の晩年にあたり、いわゆる「いざなぎ景気」によって、生活が豊かになる一方で地方医療の整備が問題となっていた時代でもあり、寒川町民および近隣の方々への社会奉仕の一念のもと、

寒川大明神の御神徳具現化の一環として、全国でも非常に稀な「神社」が運営する病院が誕生しました。

昭和44年11月発行の社報「相模」(第5号)には、寒川外科医院開設のご挨拶として「寒川町という地域社会をはじめ、寒川大明神の御神徳を求めて来る多くの人々の福祉に寄与することが、宗教法人たる寒川神社に課せられた使命であることを自覚し、医の仁術は神の慈愛であり生

きんとする人間の苦しみを取り除き、一日でも長く生き、神の道を歩み続けて弥々神人合一、子孫繁栄されますことを念じて、寒川外科医院の開設を致しました」と掲載されており、この思いを胸に病院運営がはじまりました。

昭和57年には、名称が現在のものに改められ、ベッド数も51床まで拡充、名実ともに総合病院となりました。高齢社会を迎え、ますます医療需要の増加が見込まれ、さらなる医療技術の向上が望まれるようになったことから、平成16年に現在の場所に新築移設され、ベッド数も

全室個室の99床となり、地域に根差した医療機関として今日を迎えております。

開院当初より患者様との心の触れ合いを大切にし、医療体制の充実に努める中で、患者様より「寒川さんの病院だから安心できる」とのお言葉をいただくことも少なくありません。今後も「寒川神社の御神威を戴し、地域の方々の健康管理と地域医療の充実を目指す」との理念を胸に、地域の皆様の「心のよりどころ」であり続ける病院運営を目指してまいりますので、変わらぬご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

現在の寒川病院



宗教法人寒川神社 寒川病院創立50周年

奉仕の精神を忘れず



「令和の平和への願い」を込めて

世界連邦日本宗教委員会「第41回世界連邦平和促進
全国宗教者・信仰者 神奈川・寒川大会」開催

世界連邦日本宗教委員会による第41回世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者 神奈川・寒川大会が12月17日に、当神社及び参集殿において開催されました。世界連邦日本宗教委員会は、宗教・宗派の違いを越えて、世界平和とともに祈るために発足されました。毎年、平和促進の大会を国内各地で開催し、例年12月7日にはアメリカ合衆国ハワイ州パールハーバーで開催される米軍主権による真珠湾慰霊式に、日米両国の戦没者の慰霊と世界平和を祈る「ハワイ平和祈念使節団」を36年連続で派遣しており、日米による怨親平等の祈りを捧げ続けています。また、平成30年の第40回大会はハワイの地において開催され、第41回目の「祈り」の地として当神社が会場となりました。

当日は午前10時より参加者一同にて御本殿において正式参拝が執り行なわれ、参拝後には神嶽山神苑を見学しました。午後1時から参集殿にて講演会を開催し、講師には、徳雄山建功寺住職・庭園デザイナーである栢野俊明氏（当神社 神嶽山神苑設計者）と外交評論家の加瀬英明氏の二名をお招きし、それぞれ『相互理解と連携の推進』『世界が日本を待っている』のテーマをもとに講演されました。

さらに、講演後には当神社の祈年祭で奉納されている田打舞神事が披露され、稲の豊作を祈る日本古来の伝統文化を参加者とともに共有し、日本人の神々への「祈り」を、令和の時代の平和を願う「祈り」へと繋げるための意義深い内容となりました。また、このように寒川の地に多くの宗教者が集い、令和初の会場となったことは非常に貴重な出来事であるとともに、今後も神社界からも平和への祈りを発信していく必要性を感じた大会となりました。



今回は記紀神話より「神武東征」の話をモチーフに、神武天皇が、日向高千穂（現在の宮崎県）から出発し、橿原宮（奈良県）において即位するまでのお話です。神武天皇が、塩椎神から東に良い土地があると聞いたことから、自らの大業を広め、天下を統治するために、豊かな土地の中心地を目指し、様々な戦いと苦難を乗り越えて東征を行います。そして、ついに大和を治める豪族の長髄彦との戦いがはじまりました。神武天皇は、長髄彦の兵を打ち破ることができず、兄である五瀬命を失い、何度も苦戦を強いられていました。それに対して、神武天皇は弓を持つて小高い丘の上から全軍を指揮していました。その時、辺りが急に真つ暗になり黒雲の中から光り輝く金色の1羽の大きなトビ（金鷄）があらわれました。光がさしたかと思うと、トビは神武天皇が持つ弓の上に飛来して止まり、その体からかがやく金色のまばゆい稲光を発して敵軍の目をくらまし、隙をつき、勝利をもたらしました。その後、神武天皇は大和を平定し、橿原宮にて初代天皇として即位されたといわれており、本年はその即位から二六八〇年を迎えました。

奉灯協賛者芳名（順不同・敬称略）

東映通信工業㈱／南東映マンション／一政水産㈱／横浜貨物総合㈱／大塚美容形成外科
柴崎徹・柴崎久恵／南ミツワ企画／日本ロードマーク㈱／橋嶋孝司・間野隆司／森川栄介
㈱竹中工務店 横浜支店／柏川昌和／(医)芳晴会 愛児レディースクリニック
㈱長谷川製作所／南及川工業／南今井／㈱丸井紙店／㈱秋江／㈱阿部
㈱晃和ディスプレイ／㈱北岡本店／阿部和彦／田中雄二／㈱THコーポレーション
㈱テクノス三和／㈱タカトプランナー／石塚ガーデンテラス／㈱ジェイコム湘南・神奈川
熊澤澤造㈱／加藤俊二・加藤芳恵／㈱湘南スタイル工房／㈱シティライフ
フジシロリサイクル／長谷島征次／浦田光子／㈱金子建材土木／南秋田機工／匿名

正月の風物詩であります「迎春神話ねぶた」も、本年度20回目を迎えました。第1回目から第12回目までは「千支」をテーマに製作していましたが、第13回目からは「神話」をテーマに製作しており、今回は記紀神話より「神武東征」の話をモチーフにしてあります。夕闇に浮かぶ巨大な燈籠ねぶたは、良き年をお迎えできるように願いを込めて製作された作品です。子年の厄除に青森ねぶたが寒川神社の新年を彩ります。



ねぶた師 北村 蓮 明

昭和23年… 青森市に生まれる
昭和33年… 町内ねぶたを作り始める
昭和37年… 師匠 北川啓三に弟子入り
昭和40年… 兄弟で初めて大型ねぶたを制作
以後、小型ねぶたの制作に専念し修行
兄とともに大型ねぶたの制作を再開
以後、二人三脚で数多くのねぶたを制作
平成10年… 独立
現 在… 大型3台制作
平成26年より寒川神社のねぶたを制作

受賞歴 平成21・25・27年
ねぶた大賞(最優秀賞)
その他 数々の賞を受賞

— はっぽうよけ —

古来より日本では「鬼門（北東）」は鬼が出入りする不吉な方角とされ、様々な災いが起こると忌み嫌われてきました。四神相応しじんそうおうに、鬼門の正反対にあたる南西の方角（裏鬼門）についても、注意すべきものとして扱われてきました。地として、地相的に最もふさわしいとされた京の都「平安京」では、政治的・宗教的に最適な場所にするため、徹底した鬼門・裏鬼門対策がなされたといわれており、いかに「方角」を重要視していたかが窺えます。

それでは、寒川神社はどうでしょうか。当神社は江戸（東京）から見て南西（坤ひん）の地に鎮座しており、江戸（現在の皇居の裏鬼門）にあたります。また、通常社殿は南向き、もしくは東向きに建立されるのですが、当神社は南西を向いています。そのため、関八州の守護神として、また江戸の裏鬼門をお守りする神社として崇敬され、とりわけ八方除・方位除の神様として信仰されてきました。

人が行動する際、その行動には必ず「方向（方位）」が伴います。これに対して、目には見えない何かが作用し、法則性があるのではないか、それを研究したのが「方位学」です。この方位学の研究こそが八方除と大きく関わっているのです。人はそれぞれの生年月日により「星回り」が異なる上に、時々により良い方角（吉方）と悪い方角（凶方）が発生します。人によって全く異なる方角の良し悪しをその都度見極め、失敗の恐れのない方角を選択し、健康で幸せな人生を過ごす一助とすることが最も理想であります。しかし、慌ただしい現代においては、たとえ住居・方角・運勢の良し悪しを判断できたとしても、仕事や学校の都合が優先され、なかなか思い通りにいかないのが現実であり、支配されている法則に則って生活するのは不可能に近いといえます。

そこで、転ばぬ先の杖”として大難は小難に、小難は無難に過ごせるよう、また悪い「氣」をできる限り和らげ、良い「氣」を呼び込み、日々穏やかに過ごせるように神様に祈るのが「八方除」です。

「八方除」は、地相・家相・方位・日柄などに起因する全ての悪事災難を取り除き、福德円満をもたらしとともに、どのような状況にあっても積極的に生きていけるように導く寒川大明神の御神徳なのです。

明治41年12月29日号「横浜貿易新聞」に当社の「八方除」の記事が掲載され「古来有名なる八方除の神札を授与せらるゝ多数の人々参詣して…」との記述があり、100年以上前から当社の八方除の信仰が根付いていたことが窺えます。

※横浜貿易新聞…現 神奈川新聞

性 別	年 齡 (おおよそ)	前 厄	本 厄	後 厄
男	25歳	平成 9 年生	平成 8 年生	平成 7 年生
	42歳	昭和 55 年生	昭和 54 年生	昭和 53 年生
	61歳	昭和 36 年生	昭和 35 年生	昭和 34 年生
性 別	年 齡 (おおよそ)	前 厄	本 厄	後 厄
女	19歳	平成 15 年生	平成 14 年生	平成 13 年生
	33歳	昭和 64 年・平成 元年生	昭和 63 年生	昭和 62 年生
	37歳	昭和 60 年生	昭和 59 年生	昭和 58 年生

The diagram illustrates the 28 Lunar Mansions (Xing Shou) arranged in a circular pattern around a central point. The stars are grouped into four sets of seven, each associated with a specific direction and deity. The central point is labeled '中' (Zhōng).

- Top Group (斗 - Dǒu):** 斗 (Dǒu), 天 (Tiān), 天 (Tiān), 天 (Tiān), 天 (Tiān), 天 (Tiān), 天 (Tiān).
- Right Group (牛 - Niú):** 牛 (Niú), 牛 (Niú), 牛 (Niú), 牛 (Niú), 牛 (Niú), 牛 (Niú), 牛 (Niú).
- Bottom Group (女 - Nǚ):** 女 (Nǚ), 女 (Nǚ), 女 (Nǚ), 女 (Nǚ), 女 (Nǚ), 女 (Nǚ), 女 (Nǚ).
- Left Group (虚 - Xū):** 虚 (Xū), 虚 (Xū), 虚 (Xū), 虚 (Xū), 虚 (Xū), 虚 (Xū), 虚 (Xū).

Each star is accompanied by its name in Chinese characters and a small illustration of a deity or symbol. The central point is labeled '中' (Zhōng).

※還暦や古希・喜寿なども厄年と考えられている場合もありますが、右記以外の年齢の方は当神社では「八方除」の御祈願をお受けただいております。



澤	三	外	前	古	古	藤	藤	藤	福	福	廣	日	長	原	野
澤	澤	水	田	山	谷	澤	井	井	岡	岡	田	尾	谷		地
伸	敬	行	隆	大	喜	靖		明			直	政	正	宏	浩
喜	機	正	一	二	洋	典	薰	男	豐	誠	士	喜	富	治	一
脇	脇	脇		吉	吉	横	横	谷	村	村	三	皆	皆	三	三
			田	川	溝	溝	澤	田	田	堀	川	川	留	留	
（順不同）	文	政	善	信	篤	隆	貞	正	商	八	和	欽	米	豐	清
敬称略	亮	一	治	雄	義	義	義	勝	事	千	彦	一	男	正	
									株	雄					



令和元年 篤志奉納者芳名 (順不同・敬称略)

彫刻品 川原 和夫
浄財 大塚 節子
浄財 岩瀬 華子
浄財 オーケー(株) 飯田 勸
ベンチ 寒川神社商工奉賛会

第52回 菊花展入賞者 (敬称略)

宮司 賞
厚物の部 秋山 美好
副審査長 遠藤 吉和
審査長 高橋 正夫



神社本庁統理賞
間管の部 三橋 重夫



厚物の部

金賞 笠間 潔
銀賞 秋山 美好
銅賞 後藤 勤
寒川町長賞 大貫 明
さがみ農協 寒川地区賞 関場 清
寒川ライオンズクラブ会長賞 伊藤 政三
寒川ライオンズクラブ会長賞 三橋 太一
横浜銀行茅ヶ崎支店賞 三橋 太一
三昭グループ中華一番／嵐坊賞 菅 利
読広エリア・アド賞 梶 堯子
熊澤酒造賞 大貫 久男
ニッポン放送賞 二宮 和昭
テレビ神奈川賞 土屋 和民
ジェイコム湘南・神奈川賞 岩本 茂
ジェイコム湘南・神奈川賞 岩本 茂
入選 吉田 正彦
大貫 久男／柳澤 芳夫

厚走の部

金賞 岩本 茂
銀賞 小室 久次
銅賞 三橋 重夫
寒川町議会議長賞 玉尾 功
三昭グループ中華一番／嵐坊賞 安西 昭夫
ジェイコム湘南・神奈川賞 大貫 昭司

太管の部

金賞 笠間 潔
銀賞 後藤 勤
銅賞 福岡 堅
寒川町観光協会賞 山田 豊
湘南信用金庫寒川支店賞 荒井 秀三
三昭グループ中華一番／嵐坊賞 安池 三雄
ジェイコム湘南・神奈川賞 荒井 秀三
ジェイコム湘南・神奈川賞 松原不二男
入選 阿諏訪 豊

間管の部

金賞 後藤 勤
銀賞 須藤 規安
銅賞 小峰 勝利
さがみ農協寒川地区賞 清田 美躬
寒川町商工会賞 大出 進
横浜銀行茅ヶ崎支店賞 菅 利
読広エリア・アド賞 松原不二男
F.M.横濱賞 安池 三雄
テレビ神奈川賞 渡辺 要治
ジェイコム湘南・神奈川賞 吉田 茂雄
ジェイコム湘南・神奈川賞 中込 正義
NACK5賞 秋山 美好
F.M.富士賞 荒井 秀三
入選 山田 豊
細管の部
金賞 大出 進
銀賞 清田 美躬
銅賞 阿諏訪 豊
日本郵便株寒川郵便局長賞 松原不二男
三昭グループ中華一番／嵐坊賞 福岡 堅
読広エリア・アド賞 三橋 太一
NACK5賞 福岡 堅
入選 原 則夫
福助の部
金賞 竹内 進
銀賞 玉尾 功
銅賞 清田 美躬

入選

笠間 潔／矢野 幸次
小室 久次／荒田 洋司
松野 寛／松野 利
田中 昇／菅 利

金賞

玉尾 功
菅 利

銀賞

菅 利

銅賞

清田 美躬／竹内 俊雄
小室 久次／松野 寛

だるまの部

小峰 勝利
笠間 潔
安西 昭夫
後藤 勤

七本立の部

審査長賞 小峰 勝利
寒川ライオンズクラブ会長賞 笠間 潔
湘南信用金庫寒川支店賞 安西 昭夫
ジェイコム湘南賞・神奈川賞 後藤 勤

菊奉納者芳名 (順不同・敬称略)

小川 弘(茅ヶ崎市)／江藤 俊介(茅ヶ崎市)
公文 昇(茅ヶ崎市)／柿澤 昌明(茅ヶ崎市)
杉本 修(茅ヶ崎市)／柳澤 芳夫(藤沢市)
笠間 潔(綾瀬市)／田中 博司(綾瀬市)
藤岡 清久(綾瀬市)／大塚 外雄(綾瀬市)
土屋 和民(綾瀬市)／福島 忠志(綾瀬市)
内藤 俊雄(綾瀬市)／市川 敏子(大和市)
竹内 進(大和市)／中村トミエ(大和市)
藤井 和子(大和市)／小峰 勝利(大和市)
矢野 幸次(大和市)／関場 清(大和市)
齊藤 征一(大和市)／小林 和夫(大和市)
市川 正夫(大和市)／伊藤 政三(大和市)
矢後てるみ(大和市)／三橋 重夫(厚木市)
開沼 一善(厚木市)／西込 守夫(厚木市)
松野 寛(厚木市)／中込 正義(厚木市)
南條 隆(厚木市)／大貫 久男(厚木市)
鈴木 良雄(厚木市)／荒井 秀三(厚木市)
奥津 国勝(座間市)／藤田 愛子(伊勢原市)
田中 伸三(伊勢原市)／笠原 敏男(伊勢原市)
平川 光則(伊勢原市)／岡 照男(伊勢原市)



宮司 賞
清水 進

第52回 写真展入賞者 (敬称略)

審査長 丹治 俊雄

佐藤 俊昭(伊勢原市)／森井 渡(伊勢原市)
倉持 武(伊勢原市)／梶 俊一(伊勢原市)
梶 堯子(伊勢原市)／中村 清(伊勢原市)
小澤 厚子(伊勢原市)／半谷 昭雄(海老名市)
佐藤 誠一(海老名市)



神社本庁統理賞

中村 成信

「最敬礼」

「新緑に舞う」

金賞 蛭田 俊雄
銀賞 松山 進
銅賞 榎村 秀
内田小夜子 卓旺
福住 武
水野 武
川上 勝正
中尾 輝男
大坪 政文
柳川 武春
小澤 俱治
荒井 三郎
寒川町観光協会賞 勝二
寒川ライオンズクラブ会長賞 昭雄
寒川ロータリークラブ会長賞 清美
木村 哲雄
横田 美彦
横田 政吾
猿渡 純之
飯田 純之
升水 春雄
柳 盛康
船橋 照貴
石井 吉雄
古郡 和敏
中村 重雄
市川さとみ 榮治
安藤 宗一
橋本 雅実
小林 雅一
原田 力
仁藤 政一
仁藤 報子
小菅 利夫
池田 康夫
會 康夫
杉崎 信行
大森 一夫
末次とし子 肇
岩井 一真
西ヶ谷 浩
堀米 和夫
末次 巖

NGO関係者に知らされます。
ある時、母国首脳の演説を聞くため総会議場に入ったのですが、日本の番になると傍聴席を立ち上って雑談したり、他の首脳の演説に関する記事を配信する記者があまりにも多く、日本人として戸惑う気持ちで思わず「フォロー・ザ・プロトコール (外交儀礼を守って下さい)」と廻りの席の人達に注意した悔しい思い出があります。



国連総会日本代表の演説(筆者撮影)

国連では世界の王室の方々が名誉職として形式的な基調講演を行うのを度々拝聴しましたが、陛下は格調高い流暢な英語で、ライフワークであられる水運の歴史的考察を踏まえた我が国の水害史を元に国際社会への真摯な提言を行っていらっしゃり、国民の一人としてとても誇らしく感じました。
陛下は近代の天皇として初めて歴史学を専攻、オックスフォード大学マートンカレッジでテムズ川の水運を研究され、先のご講演後には出席者のほとんどが立ち上がって満場の拍手で陛下のご講演を讃える等、その学識は国際社会で高く評価されています。またこの特別会合の成果は、世界の気候変動抑制を定めたパリ協定へと繋がっていきましました。
国際社会を良い方向に導く陛下を戴き、令和という新しい時代を歩んでいけるのは日本にとって幸せなことだと思います。



寒川神社 権備宜 中西正史

第9回 今上陛下と国際連合

昨年は、今上陛下の御即位に伴う御大典行事に伴い、当神社でも様々な奉祝行事が行われました。私の部署も記念展示を実施させていただきましたが、特に思い入れが深いのが、平成25年3月6日、今上陛下が国連「水と災害に関する特別会合」で初講演された映像展示です。NY赴任中は、国連NGOの一人として幅広い会議を傍聴させていただきましたが、ご講演に先立つ同年2月、現職に転任するため帰国し、この歴史的瞬間に立ち会うことができませんでした。



国連でのご講演(出典)国連広報局

国連にとって特別なのが毎年9月に世界中の首脳が集う国連総会です。総会は数日間に亘って開催され、演説順は予め外交団・報道・

授与品

図鑑

当神社では現在、さまざまな神符守札授与品（お札・お守り）を頒布しております。その授与品の中から、順番にいくつかの授与品をご紹介します。

なお、1月1日より神符守札授与品の初穂料が改訂されました。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。詳しくは当神社ホームページをご覧ください。



宝船

初穂料 5,000円



千支木彫（台座付き）

初穂料 2,500円



流鏝馬破魔矢

初穂料 5,000円



千支一刀彫

初穂料 2,500円



鏝矢

初穂料 各2,000円



絵馬付破魔矢

初穂料 1,500円



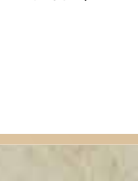
福俵

初穂料 1,500円



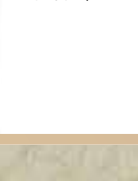
熊手(小)

初穂料 1,500円



熊手(大)

初穂料 2,500円



授与所開設時間

毎日8:00～16:30(通常)

※正月期間中の開設時間は当神社HPにてご確認ください



寒川俳壇

もうすこし生きるつもりのコート買う
山眠る動かぬ針の花時計
石路の花岬の鼻にある祠
遠回りしたき二人や月冴ゆる
鮫鰐の叫びしままに吊られとり
そばに居る唯それだけのこと冬ぬくし
漬物石少し沈みて夜の冴ゆる
即位の儀祝す礼砲菊薫る
両の手に子連れ急ぐ暮早し
生きたとは楽も苦もある木の葉髪
江の電をぶらり下車する小春風
街路樹の固く巻かれて冬構え
顔ぶれの少し変わりぬ日向ぼこ
松手入れ終えたる鉄匂ひけり
冬立ちて草木全て眠り入る
苔むした亀のあらはる神の留守
神の留守守りし巫女の緋の袴
神の留守片手で拝み素通りす
石灯笼たどる茶室は石路の花

石原美枝子
伊藤 公一
金指 月光
猿渡 弥生
岩田美代子
菅沼うめの
宮入 つる
根岸 君子
飛石 槿花
倉谷 節子
松本美智子
白井 小雪
竹村真砂美
菅沼 保幸
新井 泰春
松村 信良
天沼 子平
金子 つち
原野 楽天

相模詠草

晩秋の澄みし冷気の駅前には少女の裸像漂として立つ
わが庭に義父の植えたる柿の木は五十余年の今年も実る
音ややかにかすかになりて台風のすぎしあしたの光しづけき
木屋の香りに目覚め今日ひとひ励ましくると胸ふかく吸う
荒畑の日留りを飛ぶ紋白蝶穏やかなれる秋の一日
老いて病む寂しさつらさ体験し健康志向一際強く
つかまり立ちやおら立ち上る愛依子ちゃん少し不安気に周囲見廻す
生ゆばの微温き甘さの美味なことすくい食べるは初の体験
オリオンの輝き増しを見上げたる 明日は令和天皇祝賀パレード
バス旅で昇仙峡へ見渡せど少し早き紅葉に会えず
夕焼けに緑取られたる黒い雲いわしの群に大きくなくじら
寒川のこの家に越して来て三十年庭の八手に初花の咲く
きりきりと花卉そらせ片栗の花咲く見つつなぜか悲しき
父母眠るふる里の家静かなり絶えて久しく住む人もなく

渡邊 唯夫
小林 篤子
平澤まさえ
亀山 文子
徳江 道子
岡元 芳子
山根喜美代
宮治友美枝
平野 良三
土屋トミ子
稲垣 武子
安藤 慧
杉本 照世
瀧本三重子



神話落語・日本の歌

令和の大御代の

(おおみよ) 公演



奉祝

天皇陛下御即位

えず 涼 恵

一、豊葦原の瑞穂の国
とよあしはら みずほ
二、みたまのふゆ〜恩頼〜
三、さくらさくら 他





かつら ぶん し 桂文枝

〜神話落語〜
はじまりは高天原
一素戔鳴尊と草薙剣一

令和2年4月12日(日) 開演17:00・終演19:30予定

◆会場:寒川町民センター **入場無料** ※入場には整理券が必要です。
※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

◆主催: 相模国一之宮 **寒川神社**

◆内容:「神話落語」桂文枝/「コンサート」涼恵(えず)

応募方法 令和2年3月8日(日)午前9時より、寒川神社社務所にて入場整理券を500枚(先着順、1人2枚まで)配布致します。※無くなり次第終了



青少年だより

スカウト募集中!
小学1年生以上の男女
問合せ…寒川神社少年館
☎ 0467-74-0551

ボーイ隊 大嘗宮見学

12月7日、ボーイ隊は“大嘗宮見学ハイキング”を実施しました。宮山駅から電車で揺られ東京駅で下車し、皇居まで徒歩で向かいました。11月21日からはじまった大嘗宮の一般公開ですが、連日多くの方が参観に訪れていました。当日は気温が低く、朝から雨が降っていましたので予想よりも早く入場することが叶いました。

大嘗宮が見えてきたところでは隊長よりスカウトに「大嘗祭、大嘗宮とは何か」の説明が行われました。その後、靖国神社を自由参拝・遊就館を見学させていただき、皇居沿いを歩いて東京駅へ戻りました。雨が降り、凍えるような寒さの日でしたが、仲間とともに新しい御代の意義深い祭祀が行われた場所を見学させていただき、貴重なスカウト活動を行なうことができました。



動 静

- 10月10日 BS寒川第2団神饌田稲刈り(BVS・CS・BS・VS)
- 22日 天皇陛下御即位奉祝
パレード参加(BVS・CS・BS)
- 25-26日 くまスカウト歓送金募金活動・上進式・進級式・歓送迎サイクリング(CS)
- 11月3日 茅ヶ崎吟詠コンクール参加(少年館)
- 9日 寒川ライオンズクラブ
県道・町道花壇植栽奉仕(BS)
- 10日 台風19号災害義援金募金活動(VS)
- // さむかまわちるみ美化運動(少年館)
- 24日 親子でフィッシング&クッキング(BVS・CS)
- 12月1日 文化祭(少年館)
- 7日 大嘗宮見学ハイキング(BS)
- 8日 親子で野外料理(BVS・CS)
- 15日 月の輪スカウト歓迎ハイク(BS)
- 22日 しめ縄飾り作り(少年館)
- 23日 終業式(少年館)

神恵苑だより

神恵苑は、介護保険を使って入所サービス・通所サービス等を利用できる宗教法人寒川神社が運営する、介護老人保健施設です。

医師・ケアマネージャー・支援相談員・看護師・理学療法士・作業療法士・介護福祉士・薬剤師・管理栄養士と各専門職が連携した支援体制を整えております。病院と家との中間施設としての役割があり、リハビリ・医療等さまざまなニーズにお応えすべく努力を重ねています。

神恵苑のサービスでは、さまざまな利用の仕方があります。

加齢等に伴い、一人で日常生活を送ることが難しくなり、要介護状態になった場合には、入所してリハビリを受けていただくサービスがあります。最近「病院に入院しても、すぐ出されてしまう。もう少し長く入院したい」との声をお聴きすることが多くなりました。

そこで病院退院後、入所をして家に帰る準備として、安心して家に帰るためのリハビリを行い、さらに状態が回復し体調が安定するための訓練を行うことで、不安が減少もしくは解消されることが多いと考えています。また、脱水や熱中症等を予防する目的で、暑い時期や寒い冬の期間だけのご利用も年々多くなりました。

ご家族様にとりましても、医療体制のある施設入所は、ご安心できると考えています。計画的に、目標を定め施設生活を送っていただくことが大切で、家に戻られた後は、通いながらリハビリ訓練を行う通所リハビリテーションサービスやご家族の都合等を考慮した、短期入所(短期療養介護)等があります。また、退所後に利用される介護サービスの相談役である、ケアマネージャーが在籍する居宅支援事業所

相談窓口

施設見学をご希望の方は、下記の電話番号まで、お問い合わせください。

宗教法人 寒川神社
介護老人保健施設 神恵苑
電話 0467(75)8677
開苑時間 平日9:00~16:00

を併設しています。各々の要望にお応えできるよう切れる目のない、支援体制を整えています。

施設での生活には、教養娯楽も重要と考えています。書道・車椅子ダンス・歌の会・毎月のお誕生会行事は、意欲の向上にも繋がっています。特に、人気がある内容としては、寒川神社参拝や毎年8月に催す納涼祭です。納涼祭は、ご家族や関係者と一緒に夏のひとときを過ごします。「ご利用者に楽しんでいただきたい」との願いで事前準備に徹します。当日は、全職員が、思い思いの浴衣姿で祭りを演出致します。

寒川神社の施設職員として「ご利用者の心の声に耳が傾けられる職員を目指す」を共通の目標としてケアに取り組みさせていただいています。

少しでも長く家での生活が継続できるように入所や通所、居宅支援事業のサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して地域の皆様喜んでいただけるよう支援致します。





祝祭日には国旗を掲げましょう

【題字】

神社本庁 総長 田中恆清

【表紙写真説明】

大倉陽月氏が描く、新年初詣ポスター



寒川神社付近は、道路が大変混雑します
公共交通機関をご利用下さい
規制区域内での自転車通行は、ご遠慮下さい

『木札』

月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です



睦月「1月」



如月「2月」



弥生「3月」

次号『相模520号』は
4月1日(水)に発行します

第519号 令和2年1月1日
発行所：寒川神社社務所
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電 話：0467(75)0004(代)
編集責任者：小野 俊之
印刷所：株式会社 さんこうどう
<http://www.samukawajinjya.jp>

JR相模線 宮山駅より徒歩5分。圏央道 寒川北ICより1km。

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。

新年、明けましておめでとうございます。本年も社報『相模』もご覧いただき、ありがとうございます。『子』は千支の一番目であり、古くより吉凶の前兆を知らせるものとも考えられています。本年は、東京オリンピック、パラリンピックの開催という大きな行事も控えており、平素の新年以上に、皆様方それぞれが高目標を掲げて、吉凶の「吉」を引き込んでいただければ幸いに存じます。当神社も氏子崇敬者の方に寄り添った社報『相模』を発刊するという大きな目標のもとに、本年も邁進して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

(俊)

後 編
記 集